

# 八幡平市教育委員会会議録

令和2年10月21日（水）

八幡平市教育委員会

## 令和2年10月八幡平市教育委員会定例会会議録

### 1. 開催日時

令和2年10月21日（水）午後2時58分から午後3時53分

### 2. 場所

八幡平市役所本庁舎3階 大会議室

### 3. 出席者

教 育 長	星	俊 也
委 員	宮 野	朋 士
委 員	高 橋	優 子
委 員	伊 藤	政 行

### 4. 欠席者

委 員	羽 沢	憲 英
-----	-----	-----

### 5. 説明等のため出席した職員

教育総務課長兼学校給食センター所長兼図書館長	工 藤 久 志
教育指導課長兼教育研究所長	照 井 英 輝
教育総務課長補佐兼総務係長兼学校給食センター副所長	佐々木 由理香

### 6. 傍聴者

なし

### 7. 教育長あいさつ要旨

9月定例会後の主な行事等について報告

- 1) 9月28日（月）第23回年少少女の詩江間章子賞選考委員会 小学校、市外も含めて18校959点、中学校9校から535点計1,494点の作品が集まり例年並みの作品数となっている。今年も大変素晴らしい作品が集まり、その中から江間章子賞、市長賞、教育長賞など選ばせていただいた。11月3日の市民憲章の推進大会で表彰させていただくことになっている。
- 2) 9月29日（火）久慈市立図書館視察 大更駅前の参考のために視察してきた。久慈駅前に建てられ、3階建てで2階が子ども図書館、3階が一般ということで大変素晴らしい図書館であった。

防災教育重点部会 岩手大学の土井先生をお招きして、火災・防災ガイドラインに関わって、大変参考になるお話をいただき、今後市の防災教育

カリキュラムの作成にいかしていきたいと思っている。

- 3) 10月2日(金) 岩手県中学校駅伝 西根中学校が代表として出場し、後半追い上げたが6位ということで、本人たちは優勝を狙っていたので大変悔しがっていた。記録的には昨年2位入賞以上の高記録なのだが、それでも6位だったということで他校の記録が例年以上に良かったといえる。
- 4) 10月6日(火) 第6回校長会議 県立高校バレー部顧問の体罰によって、3年生男子が自殺したということが何年前にあったが、その処分が下ったということで、部活指導のありかたや日常の教師の言動のありかたについて校長に指示をした。
- 5) 10月10日(土) 山賊まつりオープニングセレモニー 松尾中・西根中のブラスバンド部と吹奏楽部が盛り上げ、柏台小の八幡平太鼓が盛り上がり一役かったところである。
- 6) 10月13日(火) 市P連よりタイムカプセルの贈呈 昨年度小学校を卒業した6年生全員が、自分に宛てたメッセージを、成人の日までタイムカプセルに入れて、預かってほしいとのことで、教育長室で預かることになった。

八幡平市コミュニティ・スクールディレクター・コーディネーター懇談会 今年第1回目、市内14校すべてが導入ということで、各学校のディレクター・コーディネーターの情報交換をした。大変うれしかったのは、どの学校のディレクター・コーディネーターさん方も、やりがいをもってやっているということ、献身的に誠実に学校のため、子供たちのために尽くしてくださっている姿を垣間見てうれしくなった。今後の課題としては、保険のこと報酬のあり方などが残っているところである。

- 7) 10月19日~20日 宮古地区教育委員会協議会教育委員等先進地視察研修 八幡平市に14名来ていただき、晴天に恵まれ寄木小学校の授業参観をして、学校経営や八幡平市の行政の進め方について質疑を交わした。昨日は、松尾鉦山資料館、焼走りなどの視察をして紅葉真っ盛りの中大満足で帰られた。

#### 11月の主な行事について報告

- 1) 10月28日(水) 八幡平市議会教育民生常任委員会視察
- 2) 10月29日(木) 岩手地区中学校総合文化祭  
岩手県市町村教育委員会協議会令和2年度教育長部会
- 3) 10月30日(金) 令和2年度第2回県教育委員会と市町村教育委員会との意見交換
- 4) 10月31日(土) 八幡平市芸術祭開幕式
- 5) 11月3日(火) 令和2年度八幡平市市民憲章推進大会
- 6) 11月4日(水) 八幡平市議会第2回臨時会
- 7) 11月5日(木) 令和2年度第3回管内市町教育委員会教育長会議並びに第2回管内市町教育委員会学校教育担当課長会議

令和2年度第2回管内公立小・中学校長会議

- 8) 11月6日(金) 令和2年度盛岡教育事務所・岩手地区市町教育委員会教育長及び岩手地区校長会教育懇談会
- 9) 11月12日(木) 松野小学校公開
- 10) 11月13日(金) 令和2年度岩手県教職員表彰式
- 11) 11月16日(月) 11月教育委員会定例会
- 12) 11月19日(木) 安比高原スキー場安全祈願祭

## 8. 報告事項の要旨

(教育総務課)

・久慈市の図書館が今年7月にオープンした。駅に向かって右側にある建物で、中心市街地活性化基本計画に基づいて整備をした複合施設である。地上3階建て敷地面積は2,908㎡3反分くらいある敷地である。建物とともに駐車場も44台分あり、利便性は立地のいい状況となっている。延べ床面積は3階建てで2,518㎡、1階あたり約800㎡、正方形の建物で1階が駅前の観光交流センター、1階で1つだけカフェが入っていた。多目的室、待合スペース、観光物産協会が指定管理を受けて管理しており、3階まで施設全体の管理も担っている形であり。2・3階は市立図書館で、子育て支援センターとしてのフロアは特にならないが、市立図書館2階建てのうち2階が児童・青少年用のフロアで一般図書は一部、メインとなる事務室となっている。3階は一般図書、郷土資料、閉架書庫となっている。屋上と展望室なども備えており、三鉄も見ることができるよう眺望の利く場所である。人口3万5千人程度なので、図書の収蔵能力は15万冊という規模である。私どもが想定しているのは10万冊である。今はまだ7割程度の10万冊をきるくらいの冊数であった。座席数も150席ということで、窓際に張り巡らせた閲覧コーナーも持ち合わせていた。学習室も2か所備えております。子育て支援と一体となっている児童青少年コーナーには、すくすくサロンやおはなしの部屋という仕切った部屋があった。オーソドックスな書架の配置ではあった。天井にも木を張り巡らせたり、書棚についても白樺の特徴を出したり、上のほうはダークな木のイメージで落ち着きと白樺の特徴がプラスして工夫されているのを感じた。コロナウイルスの関係で、非接触型ということで貸し出しや返却にあたって、セルフ貸し出し機というのを備えていた。図書の除菌機というのもあった。最近では電子図書にも取り組んだようだが、それに対応できる冊子がまだ100くらいしかないということで、対応できる電子図書がまだ予測できないというのが悩みのようである。図書館の運営については、図書館流通センターの方に指定管理委託しており、ここは県立図書館や矢巾町も請けている。民活の指定管理の運営を採用しているようである。総工費は3階建て約13億弱で、特定財源が市街地の活性化事業を使ったということで社会資本整備総合交付金というのを、半分ほど財源充当できたという背景があり、いろいろ制約はあると思うが、そういった中でも独自色は出せている

のではないかと思います。図書コーナーは大体どこも同じような使い方だが、1階はいろいろ、あまちゃんとか展示が工夫されて、カフェコーナーがないとやはり観光を売り出しただけでは、地元の人が使ってくれる場面がなく、他から来る人は行くが、市内の方々というのは普段見慣れているので、カフェで飲みながらでないと、地元の人もなかなか入ってくれないという感じは受けた。そこはこれから工夫していく必要があるのかと思った。

顔づくり施設予備設計業務は、検討会議の方が9月30日に行われ、方向性を決めるという会議であった。

～図面を見て説明～

ゾーニングの案が出たら、もっと具体的にみなさんにお見せできるかと思う。運営の仕方についても、これから総合的なビルメンテナンスを委託しながら、フロアごとに指定管理という方向も濃厚になるかと思う。みみずくさんも人を増員することによって、今までのような管理形態であれば受けていけるかなと、今後NPO法人とも協議していく。

GIGAスクール関係では、来月の教育民政常任委員会の視察が10月28日大更小学校パソコン教室の視察ということで、私と坂本係長が対応する。同じ日に教育の集いと研修会があるが、欠席させていただきこちらに対応する。GIGAスクールも仕様等も固まって、明後日入札になる。落札した業者と仮契約をして、11月4日の臨時議会で可決すれば正式に契約という運びになり、ここからスタートということになる。内容の方も、当初はGIGAスクール仕様のタブレットパソコンを、児童生徒用、教員用、合わせて全部購入することにしてしたが、昨年配備したパソコンについては、かなり性能も高くオンラインにも対応できるものなので、それを教師用にして有効活用する方向性にして、少し購入台数を減らすことで入札に臨む。130台ほど有効活用するが、ソフトのインストールのしなおしなどがかかる。Windows10というOSを使用し、教育用パソコン2社のものをインストールする形で進めている。議会のみなさんも、今のパソコン等を今後どう使っていくのか興味があり、状況を掴んでおきたいということで視察にいった。今後の活用予定について説明が必要かと思い、同行する事になった。

人事は11月5日から方針が示されるが、来週には来年度の定期人事異動の県教委の方針が示されると思う。その方針が示されたならば、来月の定例会でみなさんにお示ししたいと思っている。

(教育指導課)

・先週から始まった学習発表会の様子と、今月から始まった今年度2回目の学校訪問で、すでに訪問を終えた学校について報告させていただく。10月17日(土)から小学校の学習発表会がはじまっており、私は柏台小学校と寺田小学校の2校を参観させていただいた。両校のコロナウイルス感染症対策

として、受付において来校者の体温測定や名簿の作成を行い、各家庭4人までの参観という制限を行った。両校とも体育館の床面積から収容人数を算出し、イスの間隔を2m程度確保し、各学年の発表の間には必ず5分程度の換気の時間を設けて空気の入れ替えし、十分に感染症予防対策を行っていた。児童の発表については、柏台小学校1・2年生の発表では、子供たちはマウスシールドをつけて学習の成果をかわいらしく発表し、保護者や地域の方々から多くの拍手をいただいていた。寺田小学校では、6年生の演劇を拝見したが、児童自らが脚本や演技を工夫しながら取り組んだ様子が、十分に表現されていた。劇に使用する背景画や衣装を、毎年地域の劇団からお借りしていると聞き、地域の方々からの支援協力を改めて確認する機会となった。今後11月21日の田山小学校まで、学習発表会や文化祭が実施される予定である。

学校訪問について、2回目の学校訪問では各学校の道徳の授業や、英語・外国語活動の授業を中心に参観している。今日現在訪問を終えた学校は小学校2校、中学校3校になる。小学校は田頭小学校、大更小学校の2校を訪問し、どちらの学校も概ね落ち着いて学習に取り組んでいたが、田頭小学校では6年生の外国語の授業において、子供たちが表情豊かで楽しそうに授業に取り組んでいる姿が、大変印象に残った。本日、午前中大更小学校を訪問したが、支援員や配慮を必要とする児童に対して、特別支援に関わる先生方が組織的に対応し、また支援員を効果的に配置して、子供たちが落ち着いて学習している状況を確認した。また、教育事務所から配置されている英語専科教員と、ALTが連携し、5・6年生に対してより専門的な外国語の授業が展開され児童の興味、関心を高めている事を拝見した。中学校は西根中、西根第一中、松尾中の3校を訪問している。どの学校でも生徒が落ち着いて学習に向かう姿を拝見した。中学校の道徳では、それぞれの道徳的価値にせまる資料を真剣に読み取りながら、自分の思いをしっかりと発表したり、書き綴る姿を拝見した。しかしながら、生徒と教師の1対1のキャッチボール的な発言のやり取りが多くみられ、新学習指導要領が目指している、考え議論する道徳という側面からみると、今回はそのような授業場面を見ることなく、今後に期待したいと思っている。英語の授業では、オンラインを使いながら外国の人と交流する場面を想定した授業や、自分のあこがれの人を紹介するスピーチの原稿を作る様子、外国の料理の紹介と自分の良さを紹介する授業など、工夫した授業に積極的に参加する生徒の様子を拝見した。学校訪問は11月18日の柏台小学校の訪問まで続く予定である。

10月13日八幡平市コミュニティ・スクールディレクター、コーディネーター懇談会を実施した。この事業は、藤嶋コミュニティ・スクールアドバイザーの発案で、今年度初めて実施された。市内8つの小学校で支援をいただいている4人のディレクター、コーディネーター全員の参加をいただいた。始めに講義として藤嶋アドバイザーからコミュニティ・スクールの動向を話していただき、その後交流会として一人一人から各学校の進捗状況や、現在

困っていること悩んでいることを、ざっくばらんにお話ししていただいた。みなさんの話では、コロナ禍の中で事業の制限等があるけれども、この役をやっているととてもやりがいを感じている。子供たちの成長を見ることがうれしい。学校と地域のつなぎ役ができています。地域の活性化になることがうれしい。などの声をいただき、市内の小学校はこのような皆様に支えられているということを強く感じた。各学校では、コロナ禍にあって日々悩みながら教育課程や学校行事を進めてきたが、常にその相談役として各学校のディレクター、コーディネーター、学校運営協議会のみなさんが支えてくださったと、改めて確認する会になった。長い2学期もいよいよ後半に入り、小中学校ともに学習発表会等様々な活動を通して、実りの秋を実感しながら、児童生徒の成長を満ちし、日々の教育活動に取り組んでいく。11月12日今年度唯一の松野小学校の学校公開が実施される。子供たちや先生方の様子をご覧になり、励ましや激励をしていただければと思う。

#### 9. 報告事項についての質疑

なし

#### 10. その他

##### ○星教育長

それでは5その他に入ります。事務局から何かありますか。

##### ○工藤教育総務課長

報告で漏れがありました。教育委員会の事務局で人事異動の内示がありました。兼任発令です。現在、図書館に市職員として1人配置しております高橋賢悦が、9月末から病休をとっているという状況から、事務の遂行ができない状況になり、佐々木補佐が総務係長兼学校給食センター副所長に加え、図書館副館長を10月12日付けで命じられておりますので、図書館にも関与する事になります。

組織の改編を今検討している最中ですが、庁内全般特に地域振興課が地域振興分野もあり、交通もあり、地域戦力、まちづくり地域おこし協力隊、国体、スポーツ、文化財、生涯学習、非常に多岐にわたっているので、何とかしてそこを、今の企画財政課と事務分掌を分け合う組織の改編を考えています。内容についてそれぞれ協議しておりますが、その中の一つで、地域振興課で持っている通学定期助成事業を、教育委員会の方に移管したいという案がありまして、これはほぼ確定の方向になりました。当初は、I G Rが発足したときにJ Rの運賃がどうしても高くなり、定期代も上がり、激減緩和をとるためにスタートした策だったのですが、それは教育的な支援の分野であろうという分野から、通学定期の10%にかかる助成事業の事務を教育委員会で行うと。それを行うことによって、平館高校に通学される方の10%かさ上げというのも、本年度

からスタートしていますので、お互いの事務の縦割り感がなくなって、1人の方が10%もらうために駅に行って証明書をもらい、平高に出すためにまたという、使う側からすれば効率的で負担がなくなる、効率的な事務の流れができるという背景があります。教育的支援、平館高校の振興会に対する事務のやり方に対して、縦割り感を払拭するのが大きい狙いです。これから助成申請する方は、利便性がよくなるのかなと思います。こちらとしては、細かい事務が多くありますので負担は大きくなります。一方では、生涯学習に係る分として、教育振興運動に関する分野で、藤嶋先生とずっと生涯学習の位置付けとして移管したいと協議はしてきました。これは、実際に受けるコミセン側の指定管理が令和4年度に契約更新になるということで、このタイミングに合わせて教育振興運動に係る予算についても、指定管理料の中に包含していくという方向が固まっていくのに1年はかかるだろうと。今の実践区、実践班の補助のやりかたについても、リニューアルしなければならないという期間を設けて、令和4年度から生涯学習の部門の方に、事務分掌を活かしたい方向性で目途がついてきたところでは、図書館も地方行政改革法で昨年度、博物館、公民館、図書館、全ての社会教育施設は、市長部局の方に移管できる規定が成立しております。今、文化財とスポーツ関係ということで特化しているのですが、社会教育分野として学校教育として包含して進めている教育委員会の中に生涯学習、生涯学習推進計画を持っているのが地域振興課で推進している。学校教育の中に図書館が浮いている状態。今後、新たな図書館ができる前年度とかのタイミングをもって、本来の生涯学習の施策の推進を大きく位置づける形で進めるためには、そういう方向に持っていこうという話で協議は進んでおります。今すぐということではなく、先が見えた段階で観光との連携、子育てとの連携、博物館との連携が、垣根なく運営管理ができる、効率を狙って将来の複合施設のあり方の一つとして方向性を検討しております。来年からは、まず通学定期助成がくるというのは、ほぼ確定となっております。

それから、日々修繕に追われている総務系の職員が、毎日のように修繕対応している中で、施設の管理に特化した係というのを、ずっと要望しているのですが、なかなか新たな係を配置してもらいたいというのは受けてもらえず、総務係の中での人員配置の中で充足していくという方向性しか取れないと、人事サイドから言われています。今後のパソコン関係の管理については、いろいろな部分が出てくると思いますので、職員が対応してどれだけ負荷がかかるのか、これから見据えていかなければならないと一番危惧しているところです。

○星教育長

はい、今の説明に質問等ありますか。

(なしの声)

○星教育長

委員の皆さん方から何かありましたらお願いします。

○伊藤委員

全国的にコロナ禍で、卒業する子供たちのアルバムを作るのが大変だと言われていますが、いろいろな行事とか修学旅行とか犠牲になっている中で、一生の思い出のアルバムを作るのは大変という状況の中、八幡平市はそういう問題は出ていないでしょうか。

○照井教育指導課長

今のところ届いておりません。小学校は今、修学旅行シーズンで行けている状況ですが、中学校は残念ながら中止という部分で、それについての写真は入れることができなかつたと思いますが、報道されている他県のような、行事もない修学旅行もない学校が苦慮しているということを、先日テレビで拝見いたしました。八幡平市においては、様々工夫しながら、学校の遠足であったり、校内行事も皆様のご協力をいただきながらやっていたので、そういったところで届いてはおりません。

○伊藤委員

それでしたら良かったです。子どもたちにとって一生の思い出ですので。ありがとうございます。

○星教育長

私からもお話ししますと、各学校可能な限り行事的なものを、子供たちに経験させたいと、いろいろな工夫をしております。もちろん学習発表会や運動会など時間短縮になったり、様々制約はあるのですが、その中で子供たち自身、小学校6年生、中学校3年生が存分に活躍をして、思い出をしっかりと残せるようにと配慮がありますので、八幡平市はアルバムの材料はたくさんあると思っております。

他にありますか。

○高橋委員

紫波での研修に行ってきましたので、報告させていただきます。最初に田野畑村と滝沢市のお話を聞きました。田野畑は中学校1校、小学校1校ということで、合併までいろいろ反対もあったのですが一つになって、スクールバスを使っているの、運動不足ということが心配というお話でした。滝沢市では、小学校の入学説明会の時に、発達障害についてのお話を、保護者に向けてされているようで、うちの子ちょっとと思っている保護者の方が、個人的に相談するだけではなく、みんなでその話を共有するということが、不安に思っている人が安心するということが、共有するということが大事だと思います。今、滝沢市で7.1%の子

どもが、発達障害があるという数値を聞いて、今まではただ落ち着きがない、言うことを聞かないと捉えられていた子も、きちんと診断してもらえれば、いろいろな対処することができるというお話を伺ってきました。

○星教育長

ありがとうございました。発達障害の説明については、大阪の富田林というところがスタートで、それを滝沢市の教育委員会が取り入れるようになり、TTPといいまして、徹底的にばくるという頭文字をとりまして、良いものは取り入れると。教育センターの方で昨年紹介されたものを受けて、本市でもやろうということで、今年4月入学の子供たちに対しては、保護者向けに発達障害についての説明を、全部の小学校で取り組ませていただいております。高橋委員さんがその部分で関心を持たれたのは、さすがだなと思い聞かせていただきました。

特に無いようですので、これを持ちまして八幡平市教育委員会定例会は閉じさせていただきます。ありがとうございました。